

高松体指たより

VOL. 28



H20.11.27 第四十九回全国体育指導委員研究協議会 (於 幕張メッセ)



H20.10.13 トリムの祭典 (於 サンポート高松)



H20.10.26 高松ファミリー&クォーターマラソンin庵治

のびのびスポーツ!!
いきいきけんこう!!

<http://www5f.biglobe.ne.jp/~taishi-takamatsu/>

トリムの祭典

古高松校区 森 千佳子

「早く、早く……」と幼い子どもたちの声の後、荷物を手にご両親がうれしそうに輪投げコーナーにチャレンジ。「何個人つた？」「お父さんがんばれ！」……と和やかな会話をかわされていきました。

平成二十年十月十三日(月)、秋晴れの空、今年もサンポート高松にてトリムの祭典が開催され、多くの家族連れの参加をいただき、芝生広場でニュースポーツを紹介しました。なかでも、ディスプレイコーナーは長蛇の列となりワクワクしながら待っている姿が見られ、ダイヤゾーンコーナーでもゴールの鐘の音が響いていました。「あと一つでハング一杯！」とお母さんを見上げている子どもや「もう一回やっても良い？」とチャレンジする子ども。スポーツの楽しさを味わう若い家族を見て、私も日々健康で笑顔あふれる家庭づくりを目指そうと、思いを寄せる一日となりました。



第3回高松ファミリース クォーターマラソンin庵治

広報部 柳川 邦江

小雨ばらつく肌寒い天候の中、総勢千二百名のランナーを迎え、「第三回高松ファミリース&クォーターマラソンin庵治」が華々しく行われました。

この競技は、3km・5km・12kmの三部門に分かれて行われます。3kmファミリースでは、遅れる我が子を目で追う父の姿や、疲れた母の背中を押す子どもたちなど、ほのぼのとした親子の触れ合いと絆が強く感じられました。また、5km男子の部に出場された、川添校区在住の出口 傳(つた)えさん八十四歳は、世界ベテランズにも第二回カナダ大会から参加されており、八十歳のときにはニュージランド大会10kmとハイマラソンの二種目で堂々二位というすばらしい経歴をお持ちのベテランランナー……！「二年前に癌の手術をしたよ。」と笑顔で話し、「十一月には早明浦大会に参加するんだ。」と、まるで青年のように目を輝かせながら軽快に走り去って行かれました。

走る！そしてゴールがある！その中で自分自身に挑戦し、何とも言えない達成感を味わえること。少々大げさかも知れませんが、何かを発見できることがマラソンの魅力なのかなあ……と思います。

来年もまた、素晴らしい皆さんの雄姿と素敵な笑顔にお会いできることを楽しみにしています。ちなみに、参加者最高年齢は八十七歳でした。

※後日談、早明浦大会での出石さん、見事優勝されたそうです。

カメラマンとママ

広報部 齊藤 信博

今回のファミリースマラソンin庵治において、初めて写真撮影に専念させていただきました。

あいにくの天候でしたが、撮影を行いなからコース全般を見て回ることができました。バタバタしてシャッターチャンス逃がすこともありましたが、カメラの性能に助けられ、通りの撮影は出来たかな？次の機会のベストショットを期待ください。



第29回

さわやかママさん ソフトボール大会

優勝

太田校区

準優勝

円座校区

第三位

一宮校区

優勝チームコメント

太田校区 西岡 光公

決勝戦、四対三で競り勝ち、優勝！
「ヤッター」全員のさけび、喜びの喚起でした。

私達太田クラブは太田体協の一員として地域活動に参加・協力をし、学校開放運営委員会のグラウンドを借り、

第二四日曜日、朝十時～十二時、第二三土曜日、夜七時～九時のナイター



と月四回の少ない練習をしています。子どもの病気、家庭の都合とかで、なかなかうまく練習に出て来られません。監督の口癖で、「ママさんだから無理しなくてもいいよ、出て来れるときでいいよ」と暖かい言葉をもらって、「こまで出来ました。女性にとって夏のグラウンドでの練習はとてきまびしく、汗をふいてもふいても流れが止まりません。でも、日頃のストレス解消のグラウンド、水分補給、休憩等取りながら、辛くても止められませぬ。女子ソフトはオリンピックで金メダルを獲得した競技でもあるので、もっと女子ソフトが盛んになる様に頑張ります。体育指導委員の皆様ありがとうございます。

第10回 高松市60歳以上男子 スローピッチソフトボール大会

優勝

新塩屋町校区

準優勝

檜紙校区

第三位

香西校区

優勝チームコメント

新塩屋町校区 川崎 千春

私達の校区はメンバーが多く、年齢層も少し高めですが、皆さん明るく毎週バワフルに練習している姿を時折見掛けております。毎年この大会にも参加させていただき、何度が優勝させていただいております。今年もメンバー皆さんの

日ごろの練習と健康的な活力もあり、優勝させていただきました。私達少し若い世代も壮年パワーを見習ってより一層努力し楽しく安全にスポーツを続けたいと自負しております。



高松市60歳以上男子スローピッチ

ソフトボール大会に初参加して

香西校区監督 吉田 正純

十回目の大会にしてやっと十二名のメンバーを増えることが出来、初参加しました。毎週土曜日に五十代のメンバーと共に練習している成果が三位入賞という嬉しい結果に繋がったと思います。

来年以降もメンバーを増強しながら、さらに上の成績を目指して練習に励みます。



★ソフトボール大会を終えて

ソフトボール部副部長 河谷百合子

秋の気持ちの良い絶好の運動日和の十一月二日(日)、高松市西部運動センターにて、第二十九回高松市さわやかママさんソフトボール大会並びに第十回高松市六十歳以上男子スローピッチソフトボール大会が開催されました。今回はママさんソフトボール、十三チーム、六十歳以上男子スローピッチ、十一チームの参加となり、日ごろの練習の成果が出て毎回の熱戦が繰り広げられました。

ママさんたちは、毎日の家事・仕事と忙しい合間での練習でもあるのに、バワフルな活躍を見せていただき、元気をもらい、又、六十歳以上男子の試合ではまるで少年のような顔でボールを追いかける選手の様子を見て、いつまでもプレーできる元気な体を依存する為にも、運動することの大切さと喜びを感じた二日でした。体育指導委員の皆様早朝よりの準備から運営とご苦労様でした。

展望記事

広報部 松野 直行

少し肌寒く、冬空が広がった十月一日(日)に、「さわやかママさん」六十歳以上男子スローピッチソフトボール大会」が開催されました。初戦の立ち上がりは緊張していたチームもありましたが、さすがに試合が進むにつれ、気分もほぐれて日頃の練習の成果が見られるようになりました。準決勝にもなる、一つのエラーが勝敗を左右したり、数少ないチャンスを生かしたチームが接戦を勝ち進みました。風で砂埃が舞う中でも、年齢

を感じさせないハツラツとしたプレーが続出しました。残念ながら思いが届かず、涙を流した選手の方も目に留まりました。今大会、参加いただいた選手の皆さん、お疲れ様でした。そして、数多くの感動をありがとうございました。



塩江健脚大会に参加して

庵治校区 寺竹 聡

平成二十年十一月三日文化の日に、第三十二回高松市塩江健脚大会が開催されました。低い雲があり、天候に不安を残してのスタートとなりました。

コースは中央公園から道の駅塩江付近を目指す二十五キロ、昼食の会場、香川総合体育館からの十五キロの二つのコースで行われました。十八名の体育指導委員が警備にあたり、私はこんびら健脚に続き二回目の参加となりました。途中から降り出した雨が時折強く降るところもあり、塩江の天気

が心配でした。昼食後しばらくして雨も止み、楽しそうに話しながら歩く人の姿が印象的でした。

ゴール近くでは笑顔の人が多く、元気な足取りでゴールを目指していました。私もいつか歩く方で参加してみたいと思いました。午後三時過ぎには皆さんゴール出来、色づく木々を見ながら塩江を後にしました。今回参加された体育指導委員の皆さん、お疲れ様でした。

普及部便り

普及部長 深谷 成徳

ダイヤゾーンボールを初めて高松市民に紹介し普及させるといふ大役を担った我が普及部。少々不安な気持ちで市内各校区への部員による出前研修も六月から始まり、半年で十三会場を超えた。研修開始時刻に用具一式が届いてなかったり、また、協力する部員が、



たったの三名しかいなかったり…。

毎回帰宅は十時をまわるのだが、嫌な顔もせず、使命感を持って協力してくれた部員・各校区体指そして城門会長らの協力で多くの校区の人たちに、このニュースポーツを紹介し、楽しさを伝えることはできませんでした。来る第二回大会へ向けての「はじめの一步」はどうか踏み出せたのだが、本番への不安はまだまだある。記念すべき二十二年二月二十二日は、何が何でも大盛況で、参加してくれる人に満足してもらえようなダイヤモンドボール初大会にしたいと思いません。

普及部部員の二層の奮闘はもちろんだが体指皆様の協力を中心にお願いいたします、ネ！

第49回全国体育指導委員

研究協議会に参加して

木太北部校区 上原 誠子

平成二十年十二月二十七日朝、少し肌寒い小雨がぱらつく中、高松市体育指導委員二十三名は、第四十九回全国体育指導委員研究協議会に参加するために、千葉の幕張メッセに到着しました。その直後、「誠子ちゃん、原稿のむよー」の一言に「エーッ！まじ？」って、重いプレッシャーのしかかっていた感じでした。

開会式は、初めて文部科学大臣ご臨席のもと行われ、その後、表彰式となりました。三十年もの長きに亘り、体指活動をされてきた方々には、頭が下がりました。また、

アトラクショ
ンとして、
千葉よきこ
い連のよき
こい鳴子踊
りを見て、
高知のよき
こいが全国
の人に愛さ
れている事
を実感し
ました。



基調講演では、マラソンの指導で有名な、金 哲彦先生が、「スポーツ指導者の役割とその重要性」と題して、指導者の資質や成功例、失敗例を交えながら、競技スポーツの指導におけるノウハウを講義していただきました。そして、私たちが体育指導委員としての仕事や役割はいつか？という事を改めて考えさせられました。

二十八日、二十九日は自発研修で、横浜中華街、鎌倉、箱根と歴史の勉強もしながら、目一杯観光を楽しみ、教養を広げることができました。また、参加された皆さんとたくさん親睦を図ることができ、とても有意義な充実した三日間でした。

今まで子どもも幼かったせいもあり、泊まりがけの研修はなかなか参加できなかったのですが、何より家族の理解と協力のおかげで、初めて参加することができました。本当に「感謝！」の一言です。また、城門会長はじめ、一緒に参加された皆さんには何かと気を遣っていたいただき、本当にお世話になりました。

来年の山口県での全国体指にも、ぜひ参加したいと思っています。

屋島東校区 中 健二

今回、東京モーターショーで有名な千葉県の幕張メッセで十二月二十七日・二十八日に開催されました。イメージどおり凄く広くて大きい会場でびっくりしました。

全国から体育指導委員とその関係者が約四千人集まり、功労者表彰や三十年勤続表彰を受けられる人がいて驚きと熱心さに感動しました。

その後の基調講演でも先生の内容をメモに取り、生懸命に研修を受けていました。「スポーツ指導者の役割とその重要性」の中で「指導者と選手(教わるもの)は足し算ではなく、かけ算が望ましい」と言う事を聞きそのとおりであると強く印象に残りました。いくら伝えても選手の方に聞き入れの意欲がないとダメであるという事と、逆に指導する方に伝達意欲がないと伝わらないし、付いてきてくれなくなる。指導者と選手はコミュニケーションを取り合うことが大切であると話されていました。

最後に五年目にして初めて参加して直接体験できてよかったです。



1 インフォメーション

お悔やみ

藤田 満香 (実母) 屋島西校区
松原 真二 (実母) 築地校区
大野 勇夫 (実母) 浅野校区
河谷百合子 (実父) 花園校区
泉川美喜子 (実父) 中央校区

お見舞い

東原志満子 檀紙校区
上原 誠子 木太北部校区

編集後記

体指便りの編集を終えて…

二〇〇八年も残りわずかとなりました。今回「二回目の体指だより」

広報部の足手まといにならないように勉強させていただきます。

皆さん、風邪には気をつけて、来年もがんばりましょう。

広報部 宮脇 靖子

発行／高松市体育指導委員
連絡協議会
編集人／城門 政文
編集／広 報 社
印刷所／万 成 社

題 字・高松市長 大西秀人